

【高島市 ×  Takashimaya RAKUSAI コラボ企画】
洛西高島屋

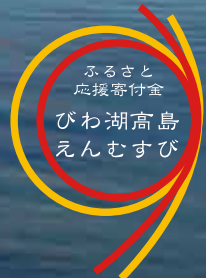
WE LOVE 高島 ふるさと納税

TAKASHIMA



ふるさと納税で“地方創生”

高島市の応援団を募集中！



有効期間:2018年12月31日(月)まで

【WE LOVE 高島 ふるさと納税 スペシャル対談】

TAKASHIMA



ふるさと納税の「ご縁」を通じて、高島市の魅力を全国へ。

高島屋取締役社長
木本 茂

高島市長
福井 正明

自然の恵みが育てる豊かな食文化

福井 2015年4月にふるさと納税の制度改正が行なわれ、全国的な関心の高まりを感じています。高島市でもご寄附いただいた方への返礼として地元特産品をお届けし、高島市のよさを伝えることで、地方創生の一助として積極的に活用していきたいと考えています。そのような中、高島屋さんのお力添えをいただき心強い限りですね。高島屋という企業ブランドとの連携が特産品の魅力をより高めてくれると期待しています。

木本 当社の創業家の故郷であり、また社名のルーツにもなる高島市には、特別なご縁を感じています。高島屋は国内に19店舗を展開していますので、全国のお客さまに高島市をアピールできると思います。それにしても高島市は豊かな自然が作り出した独特の食文化があり、味の宝庫ですね。

福井 琵琶湖で獲れる湖の幸や、里山が育む農産物、畜産物……様々な自然の恩恵を受けて発展してまいりました。近江牛、近江米、地酒をはじめ、川魚料理の一つである鮒寿司など、長い歴史に育まれた湖西ならではの特産品の素晴らしさを、ふるさと納税制度を通じてもっと広めたいという思いがあります。

木本 今回、高島屋がセレクトした返礼品には高島市自慢の特産品が約60点ノミネートされています。いずれも地元で定評のある選りすぐりの品揃えで、食通の方にもきっとお喜びいただけると確信しています。

福井 そして高島市と寄附者の「ご縁」の中で、高島市という土地にも愛着や共感を感じていただき、観光に訪れたり、移住を考えたときのきっかけにいただけたら。そんな願いをこめて、ふるさと納税の名称も「びわ湖 高島えんむすび」としました。

木本 まさに「地方創生」の取り組みですね。ふるさと納税は寄附に留まらず、地方の活性化に貢献できる事業です。私たちが高島市とのご縁を大切に、百貨店の機能をフルに活かして様々な方法でお役に立てたらと思っています。

高島市と高島屋 これからもご縁を深めて

福井 高島屋さんにはかねてより高島市の物産展の開催や、特産品を常設販売していただくなど、市の産業活性にご協力いただきありがとうございます。

木本 お客様からもご好評をいただいております。商品以外でも高島市と高島屋はさまざまな

つながりがありますね。京都店や洛西店の社員は、「たかしま生きものたんぼ米」の田植えや稲刈りなどにも参加させていただいています。また高島屋が創業150周年を迎えた際には、記念事業の一つとして、高島市の学生のみなさんの就学援助を目的とする「高島市高島屋奨学金」を創設させていただきました。

福井 おかげさまで毎年多くの学生が奨学金を活用して進学し、勉学に励んでいます。利用者は300名を超えました。これもご縁の賜物と感謝しています。そしてふるさと納税の寄附金ですが、社会福祉やスポーツ振興などのほか、環境保全や景観、森林資源の維持、自然エネルギーの整備、循環型社会の取り組みなどに使われています。

木本 環境保全にも熱心に取り組み、美しい日本の風景やすべての生きものにやさしい環境を守ろうとされているのですね。そんな市政に少しでもお役に立っているのは、高島屋の誇りでもあります。ぜひふるさと納税を通じて、みなさんにも高島市とのご縁を育てていただければと思います。

対談 「魚治 湖里庵」にて

魚治は天明4年(1784年)創業という歴史を持ち、遠藤周作氏により名づけられた「湖里庵」は、眼前に湖畔の水景色が広がり、国の重要文化的景観に選定された「海津・西浜・知内の水辺景観」の中に位置している。

滋賀県高島市は、創業家ゆかりの地。 180年続く「高島屋」の屋号のルーツです。



高島市今津町の飯田創業家の菩提寺「受行寺」

1831年、古着と木綿を扱って「高島屋」の屋号で創業。

高島屋の創業者である初代飯田新七は、元の名を中野鐵次郎といい、福井県敦賀の出身で京都の呉服商に12才で奉公に出ました。

一方、近江国高島郡(滋賀県高島市)生まれの飯田儀兵衛は、京都で米穀商を始め、故郷の名にちなんで屋号を「高島屋」と定めて成功を収めていました。その儀兵衛が、商売に精進する鐵次郎の才を見込み、娘の婿養子として迎えました。

鐵次郎は結婚を機に、名前を飯田新七と改めて分家し、呉服商で培った商売のセンスとキャリアを活かして古着と木綿を扱う店を始めることに。その時、屋号に選んだのが本家と同じ「高島屋」です。天保2年(1831年)の正月、間口二間三尺一寸三分(約4.5m)の小さな店舗から高島屋の歴史は始まりました。後に古着から呉服商、そして百貨店へと商いの幅を広げ、180年を経て今に至っています。

今も、これからも。
かけがえのない地縁を大切に。

このように高島市は創業家と縁が深く、屋号のルーツとなった特別な地です。高島屋では高島市物産フェアの開催をはじめ、高島市高島屋奨学金の制定、「たかしま生きもの田んぼ米」の米づくりへの参加や販売、高島市コンサートへの協賛など様々な取り組みを通じて、高島市との絆を深めてきました。この「高島市×Takashimayaコラボ企画 WE LOVE 高島 ふるさと納税」では、高島市の魅力ある特産物の数々をふるさと納税をしてくださったみなさまへの返礼品とし、さらなる市の活性化と発展につなげていきたいと願っています。



高島の里山に暮らす生きものたちと共に育んだ田んぼから収穫した安全と安心にこだわったお米です



お米

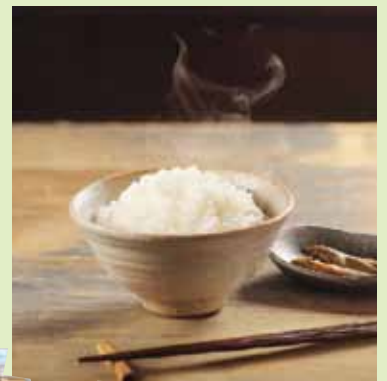
日本の原風景を思わせる美しい里山、高島市。その豊かな自然を守るため、農薬や化学肥料を使わない環境に配慮したお米づくりを進めています。

里山に暮らす生きものたちや環境に配慮した 安心でおいしい米づくり

【たかしま生きもの田んぼ米】

農薬や化学肥料を使用せず、ビオトープの造成や魚道の確保など、魚や鳥や小さな虫たちも安心して共存できる水田によって作られる「たかしま生きもの田んぼ米」。手間ひまはかかっても「安全」と「命」を最優先に、環境保全型の農法によって栽培・収穫しています。安心できる環境で、農家一件一件が心を込めて育てたお米。高島屋もこの取り組みに賛同し、社員たちが田植えや稲刈りなどの繁忙期にお手伝いしています。

「生活者」、「農家」、「生きもの」が
共に安心できる関係づくりを目指して



[寄付金額 17,000円]

● 生きもの田んぼ米食べ比べセット
(コシヒカリ・ミルキークイーン・ササニシキ各2kg)

ふるさと納税
高島市の
いいものご紹介

高島市にふるさと納税された方へ、高島屋か

鮎寿し

中国より渡来し、奈良時代にまで遡る鮎寿しの歴史。
高島市の北部、海津の郷土食とされ、今では稀少な味わいに。

【魚治 湖里庵】



天明4年(1784年)創業。今は七代目が伝統の味を受け継ぐ鮎寿しの名店「魚治」。琵琶湖の固有種であるニゴロブナを二冬かけて発酵熟成させ、乳酸菌発酵独特の酸味とうまみを作り出します。その製法はすべて、代々当主だけに許された一子相伝の技。長い歳月で熟成させた雑味のないまろやかな味わいです。近江懐石、鮎寿し懐石が楽しめる別棟の「湖里庵」は、この店をこよなく愛した作家遠藤周作氏が名付け親。



創業より伝わる蔵持ちの乳酸菌が造る二年熟成の鮎寿しをお届けします。低温熟成を二冬繰り返す、カドの取れた酸味と深みのある旨味の鮎寿し。

[寄付金額 18,000円]

● 鮎寿し本漬1尾

川魚

琵琶湖は昔から川魚の宝庫。その伝統から発祥した鰻や佃煮の名店も数々。

【近江今津 西友】

近江今津に本店を構え、鰻と川魚料理の専門店として長年地元で愛される「西友」。関西風の香ばしい鰻の蒲焼や、鮎やえびなどの川魚の佃煮は、昔ながらの製法で仕立てた伝承の味です。



永年受け継がれてきたタレを使い、香ばしく炭火焼きした関西風の蒲焼です。また、白焼したうなぎを本醸造醤油や滋賀県産の実山椒、近江の地酒などで炊きあげた山椒炊きは、酒の肴やお茶漬けとしてどうぞ。

[寄付金額 47,000円]

● うなぎ炭火焼蒲焼詰合せ(うなぎ蒲焼(国産)4尾/計約510g、たれ・粉山椒付、うなぎきも吸4袋、うなぎの山椒炊き90g)

地酒

グルメ自慢の逸品だびよん



真冬に比良山系から吹き下ろす「比良おろし」とやわらかな伏流水、近江米が良質な日本酒の生みの親。

【福井弥平商店】

滋賀の名酒「萩乃露」を製造する「福井弥平商店」は、黒塀が覆う昔ながらの佇まい。創業260年の歳月を色濃く感じさせる酒蔵で、主力商品の「吟醸純米」をはじめ、人気の生原酒からカクテル風味の「みかん酒」まで様々な日本酒を醸造しています。高島市の誇る美しい棚田で育てた米を原料に、この地でしか造れない日本酒を目指し、飲むほどにうまみが深くなる「味わうための酒」をお届けしています。



福井弥平商店をはじめ高島が誇る4つの酒蔵の飲み比べセットです。

[寄付金額 34,000円]

● 高島四蔵日本酒セット(池本酒造:琵琶の長寿 大吟醸720ml、川島酒造:吟醸 松の花720ml、吉田酒造:竹生嶋 玉栄純米吟醸720ml、福井弥平商店:萩乃露 純米大吟醸黒ラベル720ml)

ら自慢の〈高島グルメ〉をお届けします。いろいろあって迷うびよん



近江牛

琵琶湖の豊かな水源が育てた近江牛。その昔将軍家にも献上された栄誉を持ち、きめ細かな肉質と霜降りのうまみは、まさに極上。

【宝牧場】



緑豊かな里山が広がる高島市朽木村に約7ヘクタールの広大な敷地を持つ「宝牧場」。「良い牛は人が育てる」というオーナーの信条のもと、牛の肥育から肉・乳製品の製造・販売まで自社管理を徹底し、自信の“宝ブランド”をお届けしています。中でも近江牛はその最高峰に輝く品。約2年間に渡り、ストレスの少ない環境で丹念に肥育し、ほどよいサシ（霜降り）の入ったきめ細やかな肉質と甘み、口溶けのよさは格別です。



[寄付金額 130,000円]

● 近江牛シャトーブリアンブロック(1kg)

【大吉商店】

明治29年(1896年)創業。精肉店として120年近くの伝統を持つ近江牛の老舗「大吉商店」。自社牧場で牛を育て、オーナーこだわりの肉が店頭と並びます。きめ細やかな霜降りにするために、肥育状態を見極めて精肉するのが大吉スタイル。小売りはもちろんレストラン業界からも厚い信頼をいただき、コンテスト等の受賞も数々。循環型牧場を目指し、牛の堆肥を農家に供給するなど地域農業にも貢献しています。



[寄付金額 80,000円]

● 近江牛ステーキセット
(ロース3枚/計540g、ヒレ2枚/計240g)

その他にも魅力的な返礼品が約150点!

ウェブサイトまたは、パンフレットにてご覧いただけます。

パンフレットのご請求は、高島市役所 政策部 企画調整課まで。電話/0740-25-8114

ふるさと納税 高島市

検索

日本の百選 in 高島 TAKASHIMA

「日本の百選」に数多く選定され、豊かな自然を実感する高島。忘れかけていた風景に出会うために、ぜひ訪れてみてください。

春

【海津大崎の桜】

日本のさくら名所100選
[1990年(財)日本さくらの会選定]
樹齢70年を超える絢爛の「ソメイヨシノ」。開花期には約800本が咲き誇り、4kmにも渡って見事な桜のトンネルをつくります。
[所在地] 高島市マキノ町海津
[アクセス] JRマキノ駅からマキノ高原線バス「海津大崎口」下車



夏

【マキノサニービーチ】

快水浴場百選
[2006年 環境省選定]
奥琵琶湖No.1と言われるきれいな湖水。遠浅の浜が約1km続き、白砂の美しい浜辺から竹生島や海津大崎の二大景勝地が一望。
[所在地] 高島市マキノ町
[アクセス] JRマキノ駅から高木浜まで徒歩7分、知内浜まで徒歩20分

【生杉のブナ原生林】秋

日本の紅葉百選

ブナの木は自然の豊かさの象徴。三国峠の中腹に広がるブナ林は、太古の姿そのままに神秘的な美しさをつくり出しています。
[所在地] 高島市朽木生杉
[アクセス] JR安曇川駅から朽木線バス「朽木支所前」下車。乗り換えで針畑線バス「生杉」下車徒歩約60分。またはJR安曇川駅から車で約90分



【メタセコイア並木】冬

新・日本街路樹百景

[1994年 読売新聞創刊120年記念]
マキノピクランドからマキノ高原へと続く道路沿いに、延長2.4kmに渡って約500本のメタセコイアが植樹。特に冬の雪景色は圧巻。
[所在地] 高島市マキノ町寺久保
[アクセス] JRマキノ駅からマキノ高原線バス「マキノピクランド」下車



遊びにきてびよん!



びわ湖たかしま 観光PRマスコットキャラクター「たかびよん」
「お客様をむかえる・お客様が無事かえる」
この思いを忘れることなくおもてなしの気持ちで高島の観光を盛り上げていきます!
見かけたら、「よしよし」して応援よろしくお願いします!

寄付金は高島市の暮らしに役立っています!

高島市への寄付金は、寄付者の皆様の希望に応じて、子育て支援や高齢者・社会福祉、森林環境の整備や観光事業など、さまざまな事業に活用することで、より高島市の魅力を高めるまちづくりを進めています!



保育料を第2子以降は完全無料化や中学生までの医療費無料化、妊婦健診の全額助成などを実施



海津大崎や湖周道路の桜並木の保全など、観光資源や文化財を守る活動を支援



近畿1,400万人の暮らしを支えるびわ湖の、約3分の1の水を生み出している高島市の森林環境を保全

高島市からこれからも皆様へ、豊かな「恵み」が届けられるよう、「住みたい、住み続けたいまち」をめざします。皆様の応援をお待ちしています!